

# 11 ネットを語ろう

## 1 主 題 インターネット上の人権

### 2 主題・教材について

国内のインターネット利用人口は年々増加しており、2014（平成26）年末には約1億18万人、人口普及率では82.8%となっている（総務省「平成26年通信利用動向調査」）。ICT（information and communication technology：情報通信技術）の発達により、社会の有り様が大きく変化した。これまでの想定をはるかに超え、時間・空間を超越した人間関係が生まれている。それにより、人々の暮らしはより豊かなものへと高められている。

しかし、その一方で、危険性を十分に認識しないまま、安易に情報を発信したことによりトラブルが発生したり、匿名性を悪用して不適切な内容が書き込まれ、人権が侵害されたりといった事象が惹起している。子どもたちの世界においても、情報発信の容易さから、ICTを使った新しい形態のいじめやリベンジポルノなど、子ども自身が加害者や被害者になる様々な問題が発生している。

この教材は、ICTの有効性と弊害について人権という視点で考えるものである。インターネットは、その機能等について十分な知識がないと、思いもよらないような事態に陥ることがある。こうしたことについて、具体的な事例を通して考え、ICT活用についての正しい知識、技能を身に付けさせたい。また、人を大切にすることを基盤とし、子どもたちが豊かな暮らしの創造者となることを目指したい。

### 3 ねらい

- ・ ICTの活用之际して、情報モラルを正しく理解し、人権侵害を起こさないようにしようとする態度を身に付ける。

### 4 展開例

過程	主な学習活動	指導上の留意点	備考
導 入	<p>普段のインターネットの使い方を発表しよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 普段の生活の中でのインターネットの利用状況をふり返り、話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 利点だけではないことを押さえる。</li> </ul>	
	<p>インターネットの問題点について考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文（P.43）を読み、インターネットの問題点について考える。</li> <li>・ これまでに、SNSやブログ、無料通話アプリ等で困ったことがなかったか、トラブルに陥ったことがなかったか、経験を出し合い、問題点について考える。</li> <li>・ トラブルにならないように、または巻き込まれないようにするにはどのようにすればよいのか話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ この事例の場合、ブログに掲示した画像から位置情報が流出した可能性が高い。GPS機能付きのスマートフォンで撮影した際、位置情報が付与される設定になっているかどうかの問題であることを押さえる。</li> <li>・ 他人の写真を無断で掲載することは、肖像権の侵害に当たることにも気づかせたい。</li> <li>・ 自身の体験を踏まえた話を引き出すようにする。</li> <li>・ ICT活用の正しい知識、技能を身に付ける必要があることを理解させる。</li> </ul>	
展 開	<p>他の事例についても考えよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本文（P.45）の3つの事例についてもどのような行為が問題なのか話し合う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 悪質な誹謗中傷やいじめは犯罪になる可能性があることを理解させる。</li> </ul>	

展 開	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 個人情報をインターネット上で公開することの影響について考え、意見交換する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• インターネット上では、一度拡散した情報は完全には消去できないことを理解させる。</li> <li>• アプリには、インストールすると意図せずに個人情報が送信される等の危険なものがあることを理解させる。</li> <li>• 個人情報とは、氏名、生年月日、性別、住所、家族構成など特定の個人を識別できる情報であることを押さえる。</li> <li>• 自分だけではなく他者の人権をも侵害する危険性を持つものであることを認識させる。</li> </ul>
		<p>(発展) インターネットを使う際のルールづくりを行う。</p>
ま と め	<p>学習をふり返ろう。</p>	

▶参考となる資料◀

法務省 平成27年改訂版『あなたは大丈夫？（考えよう！インターネットと人権）』  
 奈良県高等学校生徒会連絡会・青少年を有害環境から守る奈良コンソーシアム  
 『小・中・高校生が考えた！インターネットセルフルールブック』